



平成30年度 7月の園だより



みみよう保育園

【共感してね】

園庭のトマトの苗がぐんぐん大きく伸びてまだ緑色ですが、かわいい実がつきはじめました。「まだかなあ〜」とのぞきこんで探している子どもたち。「大きくなって赤くなったらみんなで獲って食べようね」と楽しみにしています。

梅雨空が続くとなかなか戶外で遊べませんが、テラスから空を見上げて雨の降ってくる様子をじっと見つめ、手をさしのべて触れようとする子どもの姿がありました。「雨ふっとるね」とだけつぶやいていましたが、きっと子どもなりに何かを思い、いろいろなことを感じたり発見したりしていたのでしょ

うね。先日、Mくんが登園時になかなかお部屋に入りたがらない様子でした。お父さんが靴を脱がそうとしても「ちがう、いやだ」と抵抗しており、私は「今日は何だかお部屋に入りたくない気分なのね」とその様子を見ていましたが、お父さんは、「お部屋で先生が待ってるよ」「何して遊ぼうか」など言いながら、終始笑顔で穏やかにつきあい、「そうだよね。さっき(お家で)頑張って靴を履いたんだもんね。(だから)脱ぎたくないんだよね」と、M君の目線になって声をかけておられました。

しばらくして、部屋に入ったのですが、M君は単純に外で遊びたかったのではなく、自分で頑張って履いた靴をまだ脱ぎたくなかったのです。お父さんは出かける前に、一生懸命靴を履いている我が子の姿を見ていたから、このような言葉をかけることができたのだと理解できました。忙しい朝にもかかわらず、お父さんの対応に脱帽でした。

目に見えない「思いを分かる」「相手の気持ちを察する」というのは本当に難しいこと

だと思いますが、「〇〇だから嫌なんだね」と、子どもの思いを言葉にしてあげたり、理由が分からない時は「そう、嫌なんだね」と共感してあげるだけでいいのです。しかし、往々にしてすぐには気持ちが切り替わらなかつたり、納得できなかつたりすることもあり、時に子どもにどこまで寄り添って付き合ってあげたらいいのか困り果ててしまうことがあると思います。例えば、「まだ遊ぶと言って、なかなか家に帰ろうとせず、どこまで付き合ったらいいのか…無理やり連れて帰ろうとすると泣いて騒ぐし…」という時は、「あと1回だけね」と大人が押し付けるのではなく、「1回したら帰る？」と聞いて子どもが決めたら、1回終わるまで待つという約束を取り付けるという方法も効果的です。その後「まだやりたい」となったら、そこは「自分の決めたこと。約束は守りなさい。」と叱ることも必要になってきます。子どもの気持ちに寄り添うことは大事ですが、言いなりになるのではなく、時には毅然とした態度で接することも必要になるでしょう。実践するのは難しくスムーズにいかないこともあるかと思いますが、このような関わりを繰り返していくことで、「今どうしなければいけないのか」「何をするときなのか」など、気持ちに折り合いをつけながら、自分で考える力、判断をする力が徐々に身につけていくと考えられます。

今月から、プールを用意して水あそびが始まります。夏ならではのあそびをお子さん一人ひとりに合わせて楽しんでまいります。疲れやすくなると思われますので、十分な栄養と睡眠を取っていただきますようお願いいたします。

園長 河野純子



七夕まつり(7日)

7月7日は七夕です。七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。夜は、美しい星空が広がるのを期待しています。

七夕会は、6日(金)に行きます。七夕のうたを歌ったり、お話聞いたりして楽しみます。

【大自然の中でお泊り保育】

山県郡北広島町のログハウス“山の家”で年長組さんが、学生ボランティアのお兄さん、お姉さんと一緒にお泊り保育を楽しみます。近くの農園に行って、とうもろこしを収穫したり、また夜にはキャンプファイヤーをした後、虫の声や葉っぱの揺れる音を聞きながら露天風呂に入ったり、貴重な楽しい経験を沢山します。保護者の皆さんから離れ、大自然の中いろいろな世代の人と過ごすことで、自律心を育むことをねらいとして行っていますが、この自律心の中の生活習慣は、0歳のころから「おなかがすいたよ」「おむつがぬれたよ」「ねむたいよ」など様々な欲求にすぐに対応してもらい、2歳頃の「何でもじぶんでやりたい」という気持ちの中で、でもうまくできないという事を丁寧に支えてもらいながら、「できた!」という自信を積み重ねることで自立していくものです。

お泊り保育でも、自信をもって自分で何でもでき、活動を楽しむことができるためには、やはり、0.1.2歳からの丁寧な関わりが大切です。

子育て応援メッセージ



ギュ
ッと
ホッ!

ときどき、子どもも親も、不安な気持ちになることがあります。どうして泣くの? どうして話を聞いてくれないの? どうして? どうして? 子どもをギュッと抱きしめてみてください。ほら、自分の心があたたかくなって、子どもの心もあたたかくなって…ホッ! それでいいんです。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

【水あそびが始まります!】

今月より、水あそびが始まります。屋上やテラス、園庭など、安全、衛生に気をつけながら、それぞれの場所で体調や気温に合わせておこなっていきます。

また園開放のお友だちにも、毎日子どもたちが遊んだ後屋上を開放します。地域の子どもたちにも水あそびを楽しんでもらいたいと思っています。

